

平成24年度  
アイラブつくばまちづくりキャンペーン  
活動事例集



つくば市

## 目 次

### (1) 少子高齢化対策に関する事業

つくば小児肥満対策会	P1
さくらおたすけ会	P2
リレー・フォー・ライフ茨城実行委員会	P3
つくば子ども劇場	P4
楽走クラブ	P5
つくばがん患者医科歯科連携協議会	P6
くすのき会	P7
ふれジョブつくば	P8

### (2) 環境保全及び地球温暖化対策に関する事業


つくば森林クラブ	P9
新日本婦人の会 つくば支部	P10
ふれあい筑波	P11
特定非営利活動法人 つくば環境フォーラム	P12
金田台の生態系を守る会	P13

### (3) 安心・安全なまちづくりに関する事業


吾妻まつり実行委員会	P14
特定非営利活動法人 スマイル・ステーション	P15
つくばセンター地区活性化協議会	P16
つくば市谷田部千歳通りフラワーボランティア会	P17
竹アート実行委員会	P18
ふるさとつくばゆいまつり実行委員会	P19
北条街づくり振興会	P20
筑波学院大学大道芸ジャグリングサークルFarce	P21
筑波大学 斬桐舞	P22


### (4) 日本一の教育都市への取り組みに関する事業


つくばオペラフィオーレ	P23
漢字を楽しむ会 遊	P24
おもしろ！ふしぎ？実験隊	P25
☆一番星	P26
特定非営利活動法人 PCY298	P27
Hawai`i Festival in Tsukuba 実行委員会	P28
吉沼おやじの会	P29
つくばボードゲーム愛好会	P30
つくばハワイアン協会	P31
子どもとメディア関東	P32
衣食住研究会	P33
高山真名学園PTA連絡協議会	P34

団体名	つくば小児肥満対策会
事業名	小児肥満児を対象とした宿泊型教育キャンプ
寄附活用分野	少子高齢化対策に関する事業
総事業費	171,874円
補助金額	50,000円
担当課	健康増進課
団体の活動	近年増加している小児肥満に対して早期から介入し、将来の生活習慣病の発症を予防することを目的とした団体です。 筑波メディカルセンター病院の小児科医と小児科看護師を中心としたメンバーで、毎年夏休みにスリム教室を開催しています。
事業の概要	「第4回夏休みスリム教室」の開催 場所 筑波メディカルセンター病院・健康増進センターACT 日時 平成24年8月2日から8月4日 内容 肥満合併症・栄養・運動に関する講義・栄養指導 運動療法(ヨガ, パークゴルフ, 筑波山登山)レクリエーション(花火)
事業の成果	肥満のこどもたちは、それぞれ自分の肥満の程度と合併症を認識し、食事や栄養、運動に関する知識を得ることができました。また、同じ目的を持った仲間をつくることができ、ダイエットにむけて頑張る決意ができました。
今後の目標	今後も継続的に「こどもスリム教室」を開催することにより、肥満のこどもたちが持続してスリムで健康な体を保ち、生活習慣病の発症を予防するように取り組んでいきます。
採択・実践のコメント	・小児肥満に対して早期介入し、医学的な観点からの運動療法・栄養指導及び、レクリエーションを取り入れた運動療法についての取組を評価します。 ・今後も将来の生活習慣病発症の早期改善・予防への取組を期待します。
活動状況写真	

団体名	さくらおたすけ会
事業名	桜ニュータウンに安心と元気を届ける事業
寄附活用分野	少子高齢化対策に関する事業
総事業費	293,000円
補助金額	100,000円
担当課	高齢福祉課
団体の活動	570世帯1,400人が住んでいる桜ニュータウンでは、高齢化が進み50歳から70歳の方が約650人、70歳以上の方が約200人となっております。 私たちは高齢者の方の自立をサポートと、お互いの助け合い、日常生活での声かけをしながら、「地域の絆」が感じられるまちづくりを目指しています。
事業の概要	実施期間 平成24年4月2日から平成25年2月22日 ・お弁当を手作りして配達する事業      ・パソコン教室事業 ・草刈り事業 ・日常生活困りごと手助け事業 ・男の料理教室事業
事業の成果	・お弁当を手作りして配達する事業 7回実施 配達個数延べ624食 ・草刈り事業 実施件数31件 事業参加者数延べ360名 ・日常生活困りごと事業 実施件数10件 ・男の料理教室 実施件数6回 参加者数延べ124名 ・パソコン教室 実施件数6回 参加者数24名
今後の目標	1. 事業への地域住民の関心を高め、その結果として事業参加者数の維持・漸増する。 また、事業実施件数が維持・漸増する。 2. 事業資金の受益者負担額の割合を増やして資金面における事業の自立性を高める。 3. それらの結果の一つとして独居高齢者の引きこもりにならない地域社会を実現する。
採択・実践のコメント	・桜ニュータウンに住んでいる方々の高齢化に伴う、食事サービスや自立生活のための料理教室などの取組を評価します。 ・今後、他の自治会等とも連携し啓発活動を行うことで支援の輪が広がることを期待します。
活動状況写真	


団体名	リレー・フォー・ライフ茨城実行委員会
事業名	リレー・フォー・ライフ 2012 in 茨城
寄附活用分野	少子高齢化対策に関する事業
総事業費	2,063,884円
補助金額	150,000円
担当課	健康増進課
団体の活動	平成21年に設立し、現在の実行委員数は18名で、がん患者支援チャリティーウォーキングイベント「リレー・フォー・ライフ」を開催すべく活動しています。
事業の概要	がん患者支援及び、がんの早期発見・早期治療のために、がん検診の啓発を行いました。 ・リレーウォーク ・ エコバルーンリリース ・ ルミナリエ(LED使用のキャンドルイベント)
事業の成果	実施期間 平成24年5月19日(土)から5月20日(日)に研究学園駅前公園で行いました。 ・がん経験者の方達には、同じ病気を患う仲間達と集い、またその支援者達に囲まれることで、ともに生きていくという連帯感を持っていただけたと思います。また、医療関係者の学生達と、がん患者の語りの場で、率直な意見交換がありました。一般参加者には、がん検診の大切さを訴えることができました。
今後の目標	2008年に、つくばでトライアルとして始まったこのイベントは2010年にリレー・フォー・ライフ茨城実行委員会により再開された。去年は全国30か所で開催されたが、今年は40か所での開催が予定されている。来年以降も私達はこのイベントを続けて、地域貢献していきたいと考えている。
採択・実践のコメント	・がん患者とその家族、医療関係者、行政及び市民が連携しながら、がんについての正しい知識や検診への啓発活動を行っていることを評価します。 ・今後も、がん検診によってがんを早期発見し、早期治療に結びつける大切さを、地域と連携しつつ周知していくことを期待します。
活動状況写真	


団体名	つくば子ども劇場
事業名	「素敵な子育てしてみませんか」講演会 & コンサート
寄附活用分野	少子高齢化対策に関する事業
総事業費	268,363円
補助金額	50,000円
担当課	国際・文化課
団体の活動	1991年に設立し、現在会員数は170名です。これまで、子どものための芸術鑑賞会を133回実施しました。 劇場まつり、キャンプ、おやこ大運動会などの遊び体験活動を実施しています。幼児から青年までの様々な年齢の子どもと親の自主的な活動を行っています。
事業の概要	乳幼児の子育てに何が大切かを講演会で学び、その実践として乳幼児をもつ親子向けのコンサートを実施しました。 ・5月16日(水)「素敵な子育てしてみませんか」汐見稔幸さん講演会 @つくばサイエンス・インフォメーションセンター ・6月18日(土)「歌子さんのはじめてのコンサート」@つくばカピオリハーサル室1
事業の成果	講演会で、乳幼児期の子どもには豊かな体験とそれを見守る大人たちの姿勢が大切だと学びました。コンサートでは幼少期から年齢にあった質の高い芸術活動を親子で楽しむ豊かな時間の大切さを体験してもらうことができました。 ・汐見稔幸さん講演会 参加者 100人(定員に達したので×切) ・歌子さんのはじめてのコンサート 参加者 子ども29人 大人29人
今後の目標	幼少期向けの質の高い舞台芸術活動は少ないので、子ども劇場は今後も年齢に合った作品を多くの方に提供できるよう取り組んでいきます。
採択・実践のコメント	・幼児とその親を対象とした講演会やコンサートを通じて、より良い親子の関係の形を作ろうとする活動を評価します。 ・今後も、多くの方々が気軽に参加できるような講演会や芸術観賞を通じた活動を継続されることを期待します。
活動状況写真	


団体名	楽走クラブ
事業名	チャレンジ♡運動会
寄附活用分野	少子高齢化対策に関する事業
総事業費	61,800円
補助金額	50,000円
担当課	障害福祉課
団体の活動	つくば市の公園で、知的障害者などの親子で活動している「楽走クラブ」です。友達と一緒に楽しく自分の体を動かしながら体力も維持・向上させたい、という目的で、2005年より、年6回程度集まって軽運動をする活動を行っています。
事業の概要	参加者の軽運動と交流を目的に、小さな運動会を行い、交流会で軽食をともにします。 場所 桜総合体育館 時間 午前10時～午後1時 指導 陸上指導者およびヨガ指導者 内容 走る・ジャンプ・ボール投げ・ヨガ・障害物・交流会
事業の成果	参加者は、満10歳から63歳まで、障碍のない方も加わり、参加者・指導者・補助者みんなが協力し合っるとともに楽しみ、心温まる機会とすることができました。
今後の目標	今後もいろいろな人が参加して、楽しく心温まる、軽運動および親睦の機会として、運動会などの活動を継続して実現していきます。
採択・実践のコメント	・知的障害者などの親子で、体力向上を楽しみながら行った活動や、一般参加者などの交流会を行ったことを評価します。 ・今後は、実施回数を増やし、多くの方が参加できるような活動を期待します。
活動状況写真	

団体名	つくばがん患者医科歯科連携協議会
事業名	がん患者医科歯科連携
寄附活用分野	少子高齢化対策に関する事業
総事業費	185,775円
補助金額	50,000円
担当課	健康増進課
団体の活動	<p>がんと診断された方に寄り添う一助になりたい、その思いで発足しました。口腔内のケアや粘膜炎の対応をきちんとしておく入院期間の短縮や自己負担の軽減、また治療の断念が回避できるということを医療関係者すら知らない方もいる中、いかにつくば市に普及させていくかを活動目的としています。</p>
事業の概要	<p>がん患者医科歯科連携の必要性・重要性をポスターにして市民の目につきやすい場所に掲載し広報しました。</p>
事業の成果	<p>実施期間 平成24年12月22日から平成25年1月31日  ・500枚のポスターを大きな施設以外は1施設1枚で目立つところに貼っていたが、市民の多くの目に触れ関心を持っていただくことができました。</p>
今後の目標	<p>広く市民に、がんと診断された時、自身のためにも「がん患者連携歯科医院」に加療前に行かれるメリットを広報できたと思う。しかし、入院中や加療中、退院後も連携歯科医院で対応できる多くのことがあることを、もっと広報していきたい。</p>
採択・実践のコメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん患者に寄り添い、入院期間の短縮や、自己負担の軽減を図るための事業となったことを評価します。</li> <li>・今後は、がん患者や医療関係者に幅広く事業内容が周知され普及していくことを期待します。</li> </ul>
活動状況写真	 <p>The left photograph shows a hallway with a poster titled 'がん患者に「口腔ケア」を徹底しよう' (Let's thoroughly practice 'oral care' for cancer patients) posted on the wall. The right photograph shows a bulletin board with several posters, including one with the same title as the left photo, and other informational materials.</p>





団体名	くすのき会
事業名	大穂地区子育て応援事業「くすのき会」
寄附活用分野	少子高齢化対策に関する事業
総事業費	123,987円
補助金額	70,000円
担当課	子育て支援室(こども課)
団体の活動	大穂地区内の様々な子育て応援団体が連携して、平成19年に結成し、子どもたちが心身ともに健やかに、輝いて育つことができるまちづくりを通して地域の方々がつながっていける大穂地区を目指しています。
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「あいさつ・声かけ運動」</li> <li>・「子育てカレンダー」</li> <li>・「大穂地区小中学校交流会」</li> <li>・「小学生絵画コンクール」の実施</li> </ul>
事業の成果	<p>実施期間 平成24年 5月から平成25年 3月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てカレンダー(毎月9か所掲示)350枚配布</li> <li>・小中学生交流会(小学生110名・中学生40名・大人100名)参加</li> <li>・小学生絵画コンクール応募点数 154点</li> </ul>
今後の目標	「くすのき会」は地域内の応援団として、大穂地区内の様々な方々や団体を更に「つなげていく」活動を今後とも継続することにより、住民主体の「子育てにやさしいまちづくり」を目指します。
採択・実践のコメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大穂地区の市民、ボランティア団体、PTA等を中心に、子どもたちの健全育成に取り組み、同時に地域全体で子どもたちを見守る活動を実施していることを評価します。</li> <li>・今後多様化する地域コミュニティの中で、子どもたちの教育環境づくりのイメージを更に深めることができるよう各団体との連携、協力を期待します。</li> </ul>
活動状況写真	


団体名	ふれジョブつくば
事業名	ふれジョブつくばの活動推進のための講演会
寄附活用分野	少子高齢化対策に関する事業
総事業費	74,100円
補助金額	50,000円
担当課	障害福祉課
団体の活動	平成24年9月に設立しました「ふれジョブつくば」です。 ・ふれジョブとは、障がいのある人もそうでない人も一緒に生きていくことができる地域社会を共に創るということを目的とした活動です。みんなでやさしいまちづくりを目指して取り組んでいます。
事業の概要	つくば市において「ふれジョブ」の活動を推進していくため、講演会を開催しました。 ～みんなで取り組むやさしいまちづくり～西 幸代先生講演会 日時:平成24年12月15日 土曜日14時～16時 場所:つくば特別支援学校体育館
事業の成果	ふれジョブの活動が、障がいのある子のための活動にとどまらず、すべての人のために社会を変えていく活動であるということを、参加者で共通理解することができました。 講演会参加者 47名
今後の目標	つくば市内でふれジョブの活動を開始し、継続していくことにより、地域をつなげ、みんなでやさしいまちづくりに取り組んでいきます。
採択・実践のコメント	・障がい児の保護者だけでなく、一般の参加者もあり、事業の趣旨の共通理解を図った活動を評価します。 ・今回の講演会を機に、ふれジョブの活動が理解され、つくば市における活動の増進に寄与することを期待します。
活動状況写真	


団体名	つくば森林クラブ
事業名	金田古墳跡・館山城跡の森林の整備
寄附活用分野	環境保全及び地球温暖化対策に関する事業
総事業費	443,161円
補助金額	150,000円
担当課	農業課
団体の活動	本会は、「筑波山、宝篋山の水と緑と生き物を守る」を活動の目標とし、荒れた里山林、水源林、平地林、史跡隣接林等の整備を行っています。活動林は11か所、月に2回の定例日を設け、会員20名で、年間計画に基づき活動しています。
事業の概要	金田古墳跡と隣接する館山城(金田城)跡の竹や樹木の伐採、粉碎整理を行い、景観を良くし、人が出入りできるようにしました。
事業の成果	実施期間 平成24年5月から平成25年3月 ・通路を整備し、堀跡と主郭部分の竹や木の伐採、チップの粉碎したので、景観が良くなり、一部分ではあるが人の出入りができるようになりました。
今後の目標	城跡は堀を含めると広いので、今後も計画的に整備し、古墳跡と繋げて自然散策のできる公園として整備します。
採択・実践のコメント	・まちおこしの一端を担う整備を、団体の組織力を生かして行ったことを評価します。 ・今後は、より整備を推進させ、観光客を誘致できるような整備活動に期待します。
活動状況写真	

団体名	新日本婦人の会 つくば支部
事業名	測ってわかる大気汚染“NO <sub>2</sub> ”そして公共交通で出かけよう
寄附活用分野	環境保全及び地球温暖化対策に関する事業
総事業費	74,635円
補助金額	40,000円
担当課	環境保全課
団体の活動	市内にて子育て支援や、つくばエコライフフレンズへ参加、つくば市環境サポーターズ登録、二酸化窒素の継続測定などの環境活動、核兵器廃絶のための学習や署名の平和活動、また、わが町ウォッチングを実施し、安心安全なまちづくりに取り組んでいます。つくば市文化祭では活動紹介と絵手紙などの体験会を開催しています。
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の自動車の排ガスによる二酸化窒素を継続的に定点測定し大気汚染を観察</li> <li>・リメイクグッズ交流会 9月23日 釜崎交流センターにて(公共交通・相乗りにて集合)</li> <li>・「もっと利用しよう公共交通」10月9日 金村別雷神社へ</li> <li>・つくばサイエンスコラボ11月17日・18日にて「測定結果の表示とクイズ」実施</li> </ul>
事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・測定日 平成24年5月31日から6月1日(24時間) 定点測定78か所+希望測定4か所</li> <li>・17名参加、つくバス・つくタクを利用するきっかけになった(二酸化炭素約14kg削減)</li> <li>・11名参加、市内の豊かな自然、歴史有る文化財にふれ環境を守る意識の向上(二酸化炭素約43kg削減)</li> <li>・つくばサイエンスコラボ クイズ参加者400名(アイラブつくばへの寄付金5,353円)</li> </ul>
今後の目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>①つくば市内定点の二酸化窒素測定を将来的に継続します。</li> <li>②自動車から自転車、公共交通への乗り換え、エコドライブするなど排気ガスを減らすための啓発活動を行います。</li> <li>③自家用車に依存しない暮らしやすいまちづくりを自ら考え、力を尽くします。</li> </ol>
採択・実践のコメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車の排気ガスが環境に与える影響について、市民と環境測定や学習会を実践・報告しているところを評価します。</li> <li>・今後も環境に配慮した車社会の在り方を、つくばサイエンスコラボなどを通じて広く市民や企業等に情報提供されることを期待します。</li> </ul>
活動状況写真	


団体名	ふれあい筑波
事業名	森林と竹林の実践整備活動・継続事業
寄附活用分野	環境保全及び地球温暖化対策に関する事業
総事業費	900,000円
補助金額	150,000円
担当課	農業課
団体の活動	平成11年に設立し、つくば市地域で森林と竹林を中心に整備活動を行っています。会員数は100名で、市内の自然環境を自分達の取り組みで保全するとともに、地域住民の親睦と、つくば市の活性化を図りながら、次世代の人々への引継ぎを果たすための活動を行っています。
事業の概要	市内で整備の行き届かない森林及び竹林について、下刈りや除伐等のボランティア活動を通じ地域の自然・森林環境の向上を図ります。環境に寄与するために森林活動の場を提供し、市民参加の意識を高め、環境対策を図りました。
事業の成果	実施期間 平成24年4月から平成25年2月28日 ・森林と竹林整備実践 参加者 延べ386名
今後の目標	誰もが気軽に「参加してよかった」「取り組んでよかった」と思える、地域ぐるみの環境保全に関する活動を、今後も継続するとともに、皆さんが楽しめ、かつ地域に貢献できる公益活動に取り組んでいきたいと思います。
採択・実践のコメント	・市内で整備の行き届いていない森林及び竹林について、ボランティア会員をまとめて森林の保全活動を実施されていることを評価します。 ・次世代の子どもたちに多くの緑を残すために、今後も地域住民と連携して環境整備に努め、同時に会報等で活動を広報することで意識啓発を高めることを期待します。
活動状況写真	


団体名	特定非営利活動法人 つくば環境フォーラム
事業名	筑波山自然展の開催
寄附活用分野	環境保全及び地球温暖化対策に関する事業
総事業費	457,000円
補助金額	200,000円
担当課	観光物産課
団体の活動	「自然と人との共存」をテーマに、豊かな自然のあるまちを、未来の子どもたちへ伝えることを目的に2001年より活動しています。筑波山や茨城県南の里山をフィールドとして、里山の保全活動の実践・人材育成のための環境教育活動を展開し、地域における連携を進めています。
事業の概要	筑波山の自然の素晴らしさや保全の必要性を啓発するため、筑波山頂の休憩所で展示を行い、インストラクターが展示解説やガイドツアーなどを実施しました。
事業の成果	実施期間 平成24年10月1日から平成24年10月8日 <ul style="list-style-type: none"> <li>・筑波山の自然展来場者 944名(市内148名, 県内388名, 県外458名)</li> <li>・自然入門ガイドツアー参加者 10回実施(35名参加)</li> <li>・ボランティアのインストラクター 51名のインストラクターが展示解説やガイドツアーを担当しました。</li> </ul>
今後の目標	筑波山の自然が観光資源としても保全されるよう自然への理解を進め、来訪者への「おもてなし」となるよう「筑波山の自然展」を継続的に開催します。
採択・実践のコメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筑波山の自然を展示のみで紹介するだけでなく、インストラクターによる解説やガイドツアーなどを行ったことを評価します。</li> <li>・今後も筑波山を訪れる方への「おもてなし」だけでなく、環境保全への啓発となることを期待します。</li> </ul>
活動状況写真	

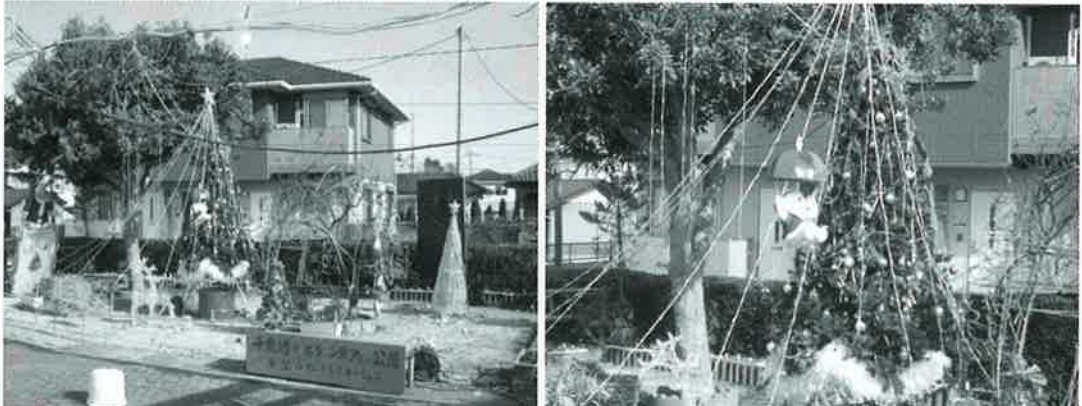
団体名	金田台の生態系を守る会
事業名	「道草ハイク」及び金田とその周辺の生態系保全活動と環境教育
寄附活用分野	環境保全及び地球温暖化対策に関する事業
総事業費	96,976円
補助金額	50,000円
担当課	環境都市推進課
団体の活動	金田台は国指定の金田官衛・金田城跡など遺跡が多く、またオオタカを頂点とした豊かな生態系が残っています。この魅力的な環境を保全し、次世代へ継承することを目的として、金田台の自然と歴史を保全する活動を行っています。
事業の概要	一般の方を対象にする「道草ハイク」という自然観察・史跡見学会を4回開催及び、森の整備、調査活動を4回開催しました。
事業の成果	実施期間 平成24年9月28日から平成25年3月10日 ・道草ハイク 参加者数 延べ45名 ・森の整備 森の道の開通 下草刈りをしたので森の中を案内することができました。
今後の目標	来年度は講演会を開催したり、リーフレットを作成してさらに金田台の理解を広め、金田台を活用してもらえるように取り組んでいきたいです。
採択・実践のコメント	・自然観察会・史跡見学会だけでなく、森林保全整備を行い調査活動を行ったことを評価します。 ・今後は、より深く生態系や史跡などを紹介する冊子を作成し、金田台への理解が深まるような活動に期待します。
活動状況写真	


団体名	吾妻まつり実行委員会
事業名	第32回吾妻まつり
寄附活用分野	安心・安全なまちづくりに関する事業
総事業費	1,499,433円
補助金額	150,000円
担当課	市民活動課
団体の活動	筑波研究学園都市は、約35年前に雑木林を開拓して造られた街で、地域のよりどころとなる神社や文化的行事もありませんでした。そこで「吾妻の子どもたちにふるさとの思い出を！」との声上がり、有志自らの手で30年前に開催された夏祭りです。吾妻地区の小中学生を含むボランティア約400名が携わり、地域の祭りとして運営しています。
事業の概要	毎年7月中旬に「吾妻まつり」を開催するに当たり、4月後半から小中PTAの協力を得て、企画準備作業をするためのWGを設置し、児童・生徒と連携して数回から10回程度を開催し、WG代表者による「吾妻まつり実行委員会」を8回実施しました。また、小中ボランティアを中心に「子供お疲れ様会」を実施しました。
事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年7月15日(吾妻まつり当日)</li> <li>・地域住民との連携 (ボランティア保険337名・イベント保険200名)</li> <li>・当日来場者数 1,250枚(おぼけの森チケット発行数)</li> <li>・お楽しみくじチケット発券数 事前配布1,619枚 当日配布274枚</li> </ul>
今後の目標	引き続き「ふるさとのまつり」として小中学校との連携や児童・生徒のボランティア参加を通じて、地域のよりどころとなるため、活動を続けていく予定。
採択・実践のコメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・センター地区で長年行われている祭りであり、PTAを中心に多くのボランティアが参加して運営を行い、子どもたちに思い出を与える活動を行ったことを評価します。</li> <li>・今後は、より魅力的な企画を行うことで、多くの来場者を呼び込む活動に取り組むことを期待します。</li> </ul>
活動状況写真	





団体名	特定非営利活動法人 スマイル・ステーション
事業名	楽楽大学『TSUKUBAを語ろう』プロジェクト
寄附活用分野	安心・安全なまちづくりに関する事業
総事業費	267,057円
補助金額	150,000円
担当課	市民活動課
団体の活動	<p>当法人は人と人、人と街、街と街をつなぎ笑顔あふれるヒューマン都市をつくり、成熟した市民社会の実現を目指して設立しました。 この目的を果たすための手段として以下の活動を展開しています。</p> <p>①笑顔市 ②楽楽大学 ③世界の筑波で盆おどり</p>
事業の概要	つくば市民にとって関心のあるテーマ、即ち、つくば市が成り立ってきた古代からの歴史、福祉問題など10のテーマで市民の方々と話し合いを実施しました。
事業の成果	<p>実施期間 平成24年5月27日から平成25年3月16日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者数 延べ420名</li> <li>・24名の講師の方にご協力いただき、当法人とのつながりができました。</li> <li>・「楽楽大学」の活動に参加を希望された方 5名</li> </ul>
今後の目標	アンケートで、以下それぞれのテーマについて、さらに深く議論する場が欲しいという意見がありました。「歴史文化会」「福祉文化会」
採択・実践のコメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つくばに関連のある事項について語り合い、公益的な内容について話し合うための人材を発見し、つくばのまちづくりを考えていく取り組みを評価します。</li> <li>・今後も様々な分野について開催し、多くの方々が参加し、まちづくりを考える輪を広げていくことを期待します。</li> </ul>
活動状況写真	


団体名	つくばセンター地区活性化協議会
事業名	ランタンアート2012
寄附活用分野	安心・安全なまちづくりに関する事業
総事業費	627,405円
補助金額	150,000円
担当課	企画課
団体の活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活性化事業(フラワーアート, スポーツトライアル, ランタンアート, 梅に願いを, ストリートサンデー)</li> <li>・地域環境整備等事業(花壇整備, 落ち葉清掃, 防犯パトロール, ムクドリ追い払い)</li> <li>・まちづくり調査事業(レンタサイクル「つくりん」, 公共空間活用実証実験をつくば市と協力して実施)</li> </ul>
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップ/7回開催。来街者や市民にランタンの絵を描いてもらい、ランタンアート当日も「ランタン工作コーナー」を設け、幅広く参加の機会を提供しました。</li> <li>・ランタンの展示/ランタンの点灯, 手作りの「ペットボトルランタン」でつくばセンター地区を飾りました。</li> <li>・コンテストの開催/センター広場に展示し, 来場者の投票で優秀賞を決定しました。</li> </ul>
事業の成果	<p>実施期間 平成24年8月27日から平成24年12月16日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内小中学生の作成したランタン数/13校, 2,757個(前年度10校, 2,536個)</li> <li>・当日ワークショップの参加者数/50名</li> <li>・オリジナルランタン投票数 982票</li> </ul>
今後の目標	ランタンアートは毎年, 制作参加をしてもらいながら認知度を上げていっており, 展示当日の来場者は制作に関わった人が多いです。また展示自体をアートとして鑑賞する人も来場します。そのため, 出展環境や鑑賞環境としてのイベントの設営には多くの労力や気配りを要します。来年以降の実施方法に関しては費用と労力, 効果のバランスを考えて検討します。
採択・実践のコメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つくば冬の風物詩としてセンター地区の景観を美化する活動を幅広い市民の手によって行っている点を評価します。</li> <li>・今後は, 当活動を継続するなかで, より市民の参加を促すような魅力的な企画により, センター地区の活性化を図ることを期待します。</li> </ul>
活動状況写真	



団体名	つくば市谷田部千歳通りフラワーボランティア会
事業名	つくば市谷田部千歳通りイルミネーション事業
寄附活用分野	安心・安全なまちづくりに関する事業
総事業費	278,396円
補助金額	100,000円
担当課	産業振興課
団体の活動	つくば市谷田部地区千歳通りの清掃活動を毎週水曜日に実施しており、平成17年12月6日に市とアダプトアロード(道の里親制度)を締結し、美化活動を実施しています。 ・清掃活動を通じて会員相互で話し合い、毎年末にイルミネーションを設置して千歳通りの賑わいを創出し、地域の活性化のために活動している団体です。
事業の概要	つくば市谷田部地区のシンボルの一つである「千歳通り」を市民手作りのイルミネーションで装飾することにより「輝く光の通りを創出する」冬の風物詩として広く市民に親しまれる空間事業を実施し、地域の活性化を図りました。
事業の成果	・点灯期間 平成24年12月2日から平成25年1月6日 ・イルミネーション設置数 34基 ・点灯式参加者 約200名、期間中の来訪者 約10,000名 ・イルミネーション等の飾り付けを参加者自らが行うことにより、地域の連帯感及び「郷土愛の醸成」に寄与するとともに、商店街の活性化に貢献できました。
今後の目標	本事業も8年継続して実施してきたことにより市民に広く親しまれる事業として認識されるようになってきました。今後は、今まで以上に地域の連帯感及び郷土愛の醸成に寄与できるよう多くの参加者を集い、アイデアあふれ、かつ手作り感あふれるシンボルツリーの設置や歳事を通じて、谷田部地域の活性化、並びに商店街の賑わい再生に向けて努力していきたいです。
採択・実践のコメント	・地域の賑わい再生事業として地域住民、商店街及び後継者等が一体となり開催し、活動の認知度も広がってきていることを評価します。 ・今後も、参加型イベントの検討や期間中の設置物の管理や来訪者の駐車場などの安全対策も継続して関係者と連携することを期待します。
活動状況写真	

団体名	竹アート実行委員会
事業名	竹文化推進事業(竹アート)
寄附活用分野	安心・安全なまちづくりに関する事業
総事業費	183,466円
補助金額	100,000円
担当課	企画課
団体の活動	つくば市のセンター地区において平成24年に設立した、竹を使ったアート作りと生け花ワークショップを行っている「竹アート実行委員会」です。 現在行っている会員数は14名で、地域住民や学生、外国人を対象とした竹を使った生け花ワークショップを開催し、竹文化の普及とセンター地区における人と人との交流を促進する活動をしています。
事業の概要	竹文化の普及とセンター地区の活性化を目的として、次の事業を実施しました。 竹アートワークショップ(4回)の開催 参加者数:地域住民67名 外国人10名 学生1名 ・第1回平成24年10月6日/内容:竹の花器づくり ・第2回平成24年10月13日/内容:竹の花器を使った生け花 ・第3回・第4回平成24年12月22日/竹の花器づくり及び生け花
事業の成果	・竹アートワークショップでは、身近な素材であるものの、普段あまり触れることの少ない竹の加工や、自分で作った竹の器に生け花をすることにより、竹の持つ魅力や、生け花の楽しさを感じていただくことができました。 ・周辺住民や、外国人、学生などの多くの方に参加いただき喜ばれ、さらにイベント当日に飛び入り参加希望もあり、今後の活動が期待されていると感じました。
今後の目標	誰もが参加して「楽しかった」と感じられ、これからも竹や、生け花への関心を持つことのできる活動を今後も継続して実施できるよう努めます。
採択・実践のコメント	・日本独特の竹文化について、生け花と組み合わせることにより、多くの関心呼び、センター地区の活性化につながった活動を評価します。 ・今後も日本文化を広め、多くの方に竹文化について普及するとともに、センター地区の活性化につながる活動を継続されることを期待します。
活動状況写真	


団体名	ふるさとつくば ゆいまつり実行委員会
事業名	第2回 ふるさとつくば ゆいまつり
寄附活用分野	安心・安全なまちづくりに関する事業
総事業費	1,032,997円
補助金額	30,000円
担当課	市民活動課
団体の活動	つくば市民の「つながり」創出の場として平成25年3月16日に「第2回ふるさとつくば ゆいまつり」を実行することを目的に委員会の運営を行いました。
事業の概要	「第2回 ふるさとつくば ゆいまつり」の開催。市民団体によるコラボレーションステージや、飲食店の出店、ワークショップブースなどを実施しました。
事業の成果	実施日 平成25年3月16日 <ul style="list-style-type: none"> <li>・当日来場者12,992人。</li> <li>・飲食店ブース売上1,051,635円</li> <li>・本事業に参加した市民団体間での交流が深まりを見せたほか、一般来客者も昨年の2.3倍に増加しました。</li> </ul>
今後の目標	実行委員会へ更に多様な市民の参画を促すことで、市民ニーズに沿ったイベントの企画運営を実現し、市民から愛されるまつりの継続的な開催を目指します。
採択・実践のコメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つくば市に住む新旧の人々を「つなげる」事業を新たに行い、スタッフや来客者同士の交流の場を創出し、来場者の増加につながったことを評価します。</li> <li>・今後は運営委員会に更に学生だけでなく市民参画を推進し、更なる市民ニーズに沿った開催内容にすることを期待します。</li> </ul>
活動状況写真	


団体名	北条街づくり振興会
事業名	つくば市竜巻災害復興支援チャリティコンサート 宮清大蔵コンサート2012
寄附活用分野	安心・安全なまちづくりに関する事業
総事業費	550,699円
補助金額	200,000円
担当課	産業振興課
団体の活動	今あるもの(地域資源)を活用して、「音楽と芸術でまちづくり」をテーマに、平成20年10月、北条商店街にある築160年の穀物蔵を筑波大学の安藤教授と学生、地元住民の協働によりコンサートホールに改修。同年11月に「こけら落としコンサート」を開催、その後も毎年クラシック・ジャズ・邦楽・落語・演劇を開催している。
事業の概要	平成24年5月6日に発生した竜巻により甚大な被害を受けた北条商店街の一日も早い復興を支援するため、昨年公演いただいたベルリンフィルメンバーの方々の協力のもと、地元住民の心のケアと癒しの場の提供、街づくり活性化と文化振興の創出を目的に開催しました。
事業の成果	実施期間 平成24年8月28日から平成24年12月20日 ・竜巻災害復興支援／一流の芸術に触れることができ、来場された多くの被害住民の方々から復興への希望を頂いたとの言葉を頂くことができました。また、ボランティアスタッフへの参加協力も受けて復興へ向けての協同意識も熟成できました。 ・チャリティ募金活動／入場お客様より多大なる善意を頂き、北条竜巻被害の復興資金として活用できました。募金額(68,692円)
今後の目標	来場者はもちろん、演奏家の方々からも宮清大蔵に対する専門評価が高く、再演奏と他の音楽家へのPRを約束されました。これからも地道な活動を積み重ねていくことにより、地域振興・文化振興に寄与するため、企画を実施していく予定です。
採択・実践のコメント	・竜巻災害支援に対して、地域の歴史資源を活用し、世界的な音楽家を招へいし、地域住民の心のケアを目的として開催したことを高く評価します。 ・今後も更に事業を発展させるとともに、継続して社会貢献に寄与するための活動等を行うことを期待します。
活動状況写真	


団体名	筑波学院大学 大道芸ジャグリングサークル Farce
事業名	つくばFantastic Festival
寄附活用分野	安心・安全なまちづくりに関する事業
総事業費	84,976円
補助金額	30,000円
担当課	企画課
団体の活動	筑波学院大学大道芸ジャグリングサークル「Farce」は、つくば市を中心に活動する筑波学院大学学園祭やイベントなどへの参加はもちろん、学外の地域イベントへも精力的に参加し、ジャグリングを通じて地域を盛り上げるべく活動している。
事業の概要	ストリートサンデーと共同、同時開催。つくば市を中心に活動しているパフォーマンスを集め、ステージでパフォーマンスを行いました。そこで見たパフォーマンスを実際に体験していただくため、ジャグリングの体験教室やバルーンアートの配布を実施しました。
事業の成果	実施日：平成24年11月18日 当日は強風にも関わらず、ステージパフォーマンスや体験教室、バルーンアートに人が多く集まり、ジャグリングや大道芸をさらに認知していただけたと同時に、市民とパフォーマーとの交流の場とすることができました。 ・体験教室バルーンアート 参加者配布人数 約100人 ・ステージパフォーマンス 参加パフォーマー11組 全体来訪者約300人
今後の目標	つくば市民の方々に、ジャグリングや大道芸の存在をもっと広く知っていただき、地域をさらに盛り上げていくべく今後もこういった地域活動を継続していきたいです。
採択・実践のコメント	・センター地区に不足しているソフト面からのにぎわい創出を担う取り組みであり多くの来客を誘致できた内容を評価します。 ・今後は、更なる広報活動を行い、センター地区の賑わい創出につながる活動になることを期待します。
活動状況写真	

団体名	筑波大学 斬桐舞
事業名	ユニバーサルソーランによる地域活性化プログラム ～鳴子でつなぐ筑波とつくば2012～
寄附活用分野	安心・安全なまちづくりに関する事業
総事業費	214,100円
補助金額	50,000円
担当課	国際・文化課
団体の活動	「ユニバーサルソーラン」をチームコンセプトとして、つくば市内を中心に活動しているYOSAKOIソーランサークルです。 メンバーは学生だけでなく、小学生から社会人まで幅広い年齢層で構成されており、県内・県外、さらに海外での演舞経験もあります。
事業の概要	つくば市4大祭りと防災通知サービス登録用QRコードがついた「オリジナル鳴子」を作成し、演舞の際にお客様に手渡しを行いました。
事業の成果	実施期間 平成25年1月12日から平成25年3月9日 観客がYOSAKOIソーランに気軽に参加することができました。オリジナル鳴子は観客の興味をそそり、4大祭り並びに災害通知サービスの提供ができました。 ・配布した鳴子の総数 500個(250組) ・配布した演舞数 東幼稚園(65)、駅周辺ストリートサンデー(84)、梅まつり(102)、定期公演(143)、つくば市放課後子供教室2回(106)
今後の目標	この活動自体を団体の定期的な活動として持続させていきたいです。また、つくば市だけでなく市外でもこうした取り組みをし、つくば市の魅力を多くの場所で伝えていきたいです。
採択・実践のコメント	・市民への防災情報の啓発活動を、踊りの楽しさとともに伝達した点を評価します。 ・今後は、更なる事業拡大を行い、多くの場において災害サービス情報の周知活動に期待します。
活動状況写真	 






団体名	つくばオペラフィオーレ
事業名	オペラ「マダム・バタフライ～蝶々さん」(日本語上演)
寄附活用分野	日本一の教育都市への取り組みに関する事業
総事業費	4,087,000円
補助金額	30,000円
担当課	国際・文化課
団体の活動	1988年発足 オペラが大好きな音楽家により、誰にでもわかりやすい日本語の台本で、リアルなオペラ公演を目的として集まったつくば市にある芸術音楽家集団です。1年に1度、つくば市のノバホールでの公演を目標とし、つくば市及びつくば市近郊の歌手と合唱団でガラコンサート、チャリティコンサート、オペラなどの活動を行って来ました。現在、発足24年目になるが、今回の「マダム・バタフライ～蝶々さん」で11回の上演になります。
事業の概要	発足当初より、上演希望の多かったオペラ「蝶々夫人」を原語のイタリア語から長崎弁などを取り入れ、より分かりやすいリアルな日本語訳をつくり、立体感ある演劇にすることにより、蝶々さんの悲しみ、母親としての子供への愛情の深さを表現できるようにしました。 さらに、音楽表現を最大に生かすためオーケストラによる伴奏を行いました。
事業の成果	実施日 平成24年10月8日 オペラ「蝶々さん」をオーケストラ伴奏とわかりやすい日本語で上演したことにより、音楽本来の美しさ、蝶々さんの子供への愛情の深さ、悲しみが観客の細部まで伝わりました。 ・来場者数 約600名
今後の目標	今までどおり地域に根付く、オペラフィオーレであり続けたいです。
採択・実践のコメント	・日本語で上演することによりわかりやすく立体感のある上演に工夫したところを評価します。 ・今後は、組織体制づくりを行い、定期的な公演が開催できることを期待します。
活動状況写真	


団体名	漢字を楽しむ会 遊
事業名	つくば漢字探検隊
寄附活用分野	日本一の教育都市への取り組みに関する事業
総事業費	270, 823円
補助金額	100, 000円
担当課	生涯学習課
団体の活動	つくば市内で、漢字を学んでいるサークル「漢字を楽しむ会 遊」です。平成23年に設立し、大人から子どもも楽しめる漢字の学習会を企画しています。活動開始から日が浅いですが、子ども達に漢字の面白さや楽しさを伝え、共に味わうため、大人も熱心に学んでいます。
事業の概要	つくば市の親子や大人の方に、近隣の施設で、漢字とその元になっているものを、実際に見ながらお話を聞き、漢字への関心を持ち楽しく学ぶ、という目的で次の事業を実施しました。 実施日 平成24年7月28日及び9月2日 1. 神様とつながる漢字の秘密を探れ！ 場所:筑波山神社 2. 食と農に関する漢字の秘密を探れ！ 場所:食と農の科学館 講師:久保裕之氏
事業の成果	小学生親子対象の講座は、いずれも盛況に終えることができました。募集を始めてから、早い段階に定員になったことから、学校外でも漢字に触れ合うことへのニーズの強さを感じました。また、地域にある施設とのコラボレーションで漢字が学べる、唯一の体験型漢字講座への関心と今後への期待もアンケートから伺えました。
今後の目標	今後も、つくば市内外の施設で、漢字探検を行う。身近に漢字を学ぶ材料があり、漢字が私たちの生活と関連していることを楽しく学ぶ機会を、漢字あそびの会とともに、これからも提案していきたい。
採択・実践のコメント	・漢字を楽しみながら学ぶ企画内容により、つくば市内小学校に通う親子からの申し込みだけでなく市外からの申し込みにより早期に定員に達してしまう魅力的な内容であったことを評価します。 ・今後も市内外の様々な施設を活用しながら漢字の楽しさを普及する活動を期待します。
活動状況写真	


団体名	おもしろ！ふしぎ？実験隊
事業名	『理科の芽』発芽計画byおもしろ！ふしぎ？実験隊
寄附活用分野	日本一の教育都市への取り組みに関する事業
総事業費	314,162円
補助金額	200,000円
担当課	こども課
団体の活動	9年前より実験教室を開催し、代表者は(独)科学技術振興機構(JST)の「理科大好きボランティア」講師及び茨城県「おもしろ理科先生」講師に登録し、年間約60回以上の実験教室を開催している。これらの活動を通して得た知識や経験を生かしスキルアップするとともに、子どもたちに科学に興味関心を持たせる活動を行っている。近年は、科学ボランティアの育成にも力を入れています。
事業の概要	つくば市が「日本一の教育都市」となるためには、科学への興味が少ない児童にも継続的に科学の楽しさを伝えることが必要と考えて次の事業を実施しました。 ①子ども向け実験教室の継続 ②市民科学ボランティア活動の場・スキルアップの場の提供 ③潜在的な科学に興味を持つ方々に、科学を通じた市民活動の在り方を提案
事業の成果	実施期間 平成24年4月29日から平成25年3月4日 ・多くの市民に科学への興味関心の芽を持っていただくことができました。 ・科学ボランティアとしての活動を知っていただき、ともに活動する仲間ができ、ともに活動する仲間ができ、さらなる活動の輪が広がりました。 ①実験教室の回数:28回 ②子ども参加者数:1,321人 ③大人参加者数:310人
今後の目標	①子ども向け実験教室の継続 ②科学ボランティアの育成:今回の事業でつながった他グループなどと連携していき、さらに科学ボランティア発掘・育成を行います。
採択・実践のコメント	・長きに渡って、各児童館と団体が協力して子どもたちに科学の楽しさを伝える実験や工作学習を実施してきたことを評価します。 ・今後考えられる参加児童の増加に際して、材料費や実験機材、講師等の確保を関係者及び参加者の協力を通じて行うことを期待します。
活動状況写真	

団体名	☆一番星
事業名	☆一番星「オペラ義援金2012」公演 “ラ・ボエーム”
寄附活用分野	日本一の教育都市への取り組みに関する事業
総事業費	1,107,026円
補助金額	30,000円
担当課	国際・文化課
団体の活動	オペラ観劇経験者に留まらず、未経験者の皆様にもオペラの魅力を伝え、より成熟した文化の街の実現を目指し、2010年に設立されました。毎春つくばカピオホールにおいてオリジナルなオペラ公演を開催しています。
事業の概要	気軽に本格的なオペラを見て頂けるよう約1時間に再構成し、原作の魅力を最大限に味わって頂ける舞台づくりに取り組みました。
事業の成果	実施日 平成24年6月2日 つくば市に住む多彩な人々がホールに集い、盛況に終了することができました。感動の涙を流される方も多く見受けられ、オペラを愉しんで頂く場を提供できました。 ・チケット購入客数:200名 招待客:50名
今後の目標	今後も参加して良かったと思って頂けるオペラ公演を継続して実施するとともに、さらにレベルアップした舞台づくりに取り組んでいきます。
採択・実践のコメント	・竜巻災害支援だけでなく、より成熟した文化の街の実現を目指し、未経験者も加えるとともに、字幕等の趣向を凝らし観劇経験の有無に関わらず、誰でも楽しめる工夫を行ったことを評価します。 ・今後も、芸術文化定着のために、観劇者の増加に向けた活動を行うことを期待します。
活動状況写真	

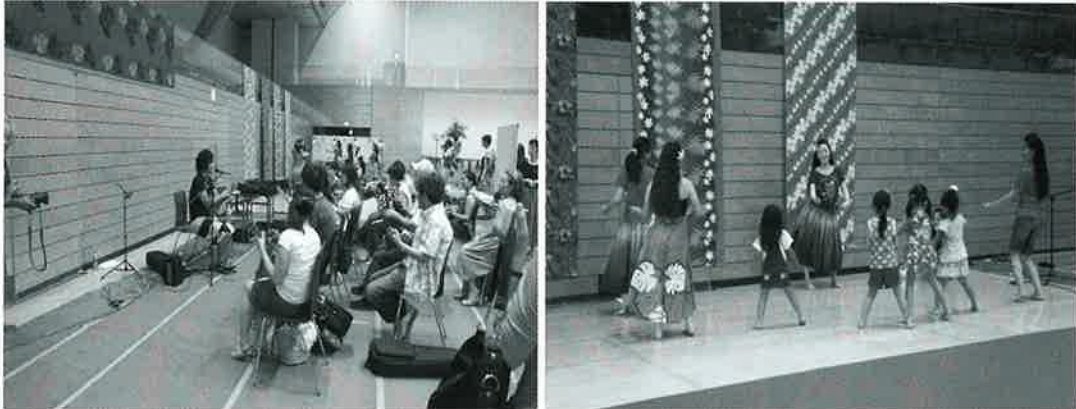
団体名	特定非営利活動法人 PCY298
事業名	パソコンノートテイクによる高校生への授業の情報保障
寄附活用分野	日本一の教育都市への取り組みに関する事業
総事業費	319,600円
補助金額	100,000円
担当課	市民活動課
団体の活動	耳の不自由な人にパソコン要約筆記による情報保障活動を2003年から継続的に行っています。特につくば市民の通う高校、大学でのノートテイクや、つくば市民の参加する講演会において情報保障を行っています。
事業の概要	普通学級に在籍する聴覚障害の高校生に対し、授業中の教師の説明や他の生徒の発話などをリアルタイムでパソコンに入力し、当該生徒に授業の参加を保障しました。
事業の成果	実施期間 平成24年4月20日から平成25年3月1日 ・進路選択の幅: 第一志望の国立大学に進学 ・支援した授業数: 授業時間185コマ
今後の目標	つくば市民で一般高校に進学を希望する、聴覚に障害を持つ生徒からノートテイクによる情報保障の要望があれば即時対応を行います。
採択・実践のコメント	・パソコン要約筆記ボランティアが授業の情報保障を支援することで、聴覚障害の高校生が普通学級で学ぼうとする希望を多く叶えられていることを評価します。 ・授業内容の守秘を義務づけられているなど特殊性もあり、今後も茨城県や関係者と連携し活動の支援、協力が広がることを期待します。
活動状況写真	 


団体名	Hawai`i Festival in Tsukuba 実行委員会
事業名	Hawai`i Festival in Tsukuba
寄附活用分野	日本一の教育都市への取り組みに関する事業
総事業費	590,325円
補助金額	50,000円
担当課	国際・文化課
団体の活動	当団体は、平成24年3月1日に、つくば市内外のハワイ文化愛好者を構成員に設立された任意団体です。 つくば初の本格的なハワイイベント“Hawaii Festival in TSUKUBA”の主催・運営を通じて、つくば周辺地域のハワイ文化愛好者の振興と総合交流の場を創設するとともに、地域活性化に寄与することを目的に活動しています。
事業の概要	Hawaii Festival in TSUKUBA 2012の開催 場所：つくばカピオアリーナ 内容：フラ・ハワイアンバンドによるステージ、ハワイ文化体験レッスン（フラ・ウクレレ・レイキング等）、ハワイ文化、つくば市紹介コーナー（パンフレット・ポスター掲示）
事業の成果	実施日 平成24年8月4日 Hawaii Festival in TSUKUBA 2012は、つくば市周辺のハワイ文化愛好者及びつくば市の参加・支援により、目標を上回る来場者があるなど（来場者数：2,300人（目標2,000人））盛大に開催することができました。
今後の目標	来年以降も継続してイベントを開催し、つくばを中心としたハワイ文化愛好者の絆を深める場の提供を行うとともに、つくば市外のハワイ文化愛好者には「つくば」の魅力を発信できる場に発展させていきたいです。
採択・実践のコメント	・ハワイ文化愛好者の交流の場を提供だけでなく、つくば市の魅力を発信し、予想を上回るイベントとなったことを評価します。 ・今後は、実施に関して計画的に取り組み、愛好家の輪をより広げられるような活動となることを期待します。
活動状況写真	


団 体 名	吉沼おやじの会
事 業 名	吉沼おやじの会
寄附活用分野	日本一の教育都市への取り組みに関する事業
総事業費	150,950円
補助金額	100,000円
担 当 課	教育総務課
団体の活動	吉沼地区で活動している「吉沼おやじの会」です。平成20年度に設立し、吉沼小学校の教育活動並びにPTA活動の支援から活動を始めました。 現在の会員数は29名を数え、吉沼小学校の教育活動の支援から、さらに吉沼地区の活性化を目指し、地域に寄与しようと活動しています。
事業の概要	1. 学校の教育支援への支援:学校の環境整備(遊具等の安全点検・ペンキ塗り、校庭の芝張り作業)、つくば市陸上記録会テント張りの支援、運動会準備片づけ支援。 2. PTA活動へ支援:6年生親子キャンプ、PTA主催三世代豚汁会への参加・支援等、学校周辺の防犯のぼり旗設置を行いました。
事業の成果	・6年生親子キャンプ参加者:6年生児童・保護者51名、おやじの会会員7名、教職員3名 ・三世代豚汁会食会参加者:児童251名、おやじの会会員13名、保護者約270名、教職員18名 ・学校への環境整備:テーブル・椅子の作成、ベンチ等ペンキ塗り、校庭芝張り
今後の目標	今後も、吉沼小学校PTA理念「すべては子どもたちのために」のもと、子どもたちの健全育成のためにボランティア精神で取り組んでいきます。さらに、新会員を募り、地域の活性化と貢献を目標に取り組みます。
採択・実践のコメント	・児童の父親と教師が連携し、学校が抱える課題を共に解決する活動を通して父親の教育参加と環境整備を図ることができたことを評価します。 ・今後も、学校が抱える課題を団体が共有し、会員と協力者が増えることで、更に充実した教育環境を提供できるものと期待します。
活動状況写真	


団体名	つくばボードゲーム愛好会
事業名	「ボードゲームの広場」を通して地域でつくる居場所づくり
寄附活用分野	日本一の教育都市への取り組みに関する事業
総事業費	56,700円
補助金額	30,000円
担当課	教育指導課
団体の活動	平成24年5月より、児童館の設置されていない春日小学校地区を対象に「ボードゲームの広場」を開催しています。低学年児童を中心に、地域の方や大学生との多世代交流の場、放課後の居場所づくりに貢献しています。
事業の概要	春日交流センターで週1回、オセロ、将棋、チェスなどで参加者の交流を深める「ボードゲームの広場」(計26回)を実施しました。
事業の成果	実施期間 平成24年4月24日から平成25年3月13日 ・「ボードゲームの広場」には16名の登録があり、毎回半数近くの方が参加しました。 活動回数37回、参加者数延べ229人、一日平均8.8名 ・筑波学院大学OCPにより、学生5名の参加しました。 ・筑波大学T-ACTボランティアへの登録を行いました。
今後の目標	市内在住の小学生、在勤の地域住民の受け入れをさらに進めていきたいです。共働き家庭から開催日増加の要望があり検討中です。
採択・実践のコメント	・児童が地域の方々と楽しみながら交流し、放課後の居場所づくりに貢献したことを評価します。 ・今後は、多世代間の交流が促進できるような活動への広がりを期待します。
活動状況写真	



団体名	つくばハワイアン協会
事業名	つくばハワイアン&フラフェスティバル2012
寄附活用分野	日本一の教育都市への取り組みに関する事業
総事業費	271,480円
補助金額	30,000円
担当課	国際・文化課
団体の活動	つくばハワイアン協会は、平成19年に設立し、ハワイ音楽とフラを中心としたハワイアン文化をつくばにおいて普及・発展させるため、つくば市文化祭を初め、各種イベントへの出演や介護施設等への慰問など幅広い活動をしています。
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日：平成24年9月9日</li> <li>・場所：市民ホールくきざき</li> <li>・内容：この事業は、全体を4つのステージに分け、軽快なハワイアン音楽に乗せ、1ハラウ(団体)毎に、それぞれの持ち味を生かしたステージを披露しました。</li> </ul>
事業の成果	<p>多くの方が入場し、ハワイアン音楽とフラを楽しみました。それにより、ハワイアン文化への共感が得られたものと確信しています。</p> <p>また今回は、つくば市竜巻被害復興支援チャリティーの募金を併せて実施し、復興支援の一助けになれたものと確信しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入場者数 約800人</li> </ul>
今後の目標	この事業を毎年継続して実施することにより、多くの方にハワイアン音楽とフラを知ってもらい、つくばをフラのメッカにしていきたいと考えています。そして、地域の皆様に支援される公益性の高い活動にも取り組んでいきます。
採択・実践のコメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハワイ文化の普及に向けた活動だけでなく、竜巻支援のチャリティーを含めた内容をACCS等を利用して、より多くの市民がハワイ文化に親しむ機会になった活動を評価します。</li> <li>・今後も、つくば市におけるハワイアン文化の普及だけでなく、社会貢献に向けた更なる取り組みにも期待します。</li> </ul>
活動状況写真	

団体名	子どもとメディア関東
事業名	子どもとメディアを考える学習・交流会2013
寄附活用分野	日本一の教育都市への取り組みに関する事業
総事業費	149,055円
補助金額	100,000円
担当課	生涯学習課
団体の活動	2012年1月に設立後、5月にはアウトメディアをテーマに門脇厚司さん、7月には子どもの発達をテーマに穂積妙子さん、9月にはメディアリテラシーをテーマに泉なおこさん・黒澤かすみさん、12月には絵本・おもちゃをテーマに市川洋美さん・橋本光子さんを講師にお招きし学習・交流会を開催した。多くの方々に参加いただき好評を得ています。
事業の概要	日本の子どもの心・体の現状と、メディアの過剰接触による影響、またネット依存について、午前は遠藤美季さん、午後は清川輝基さんの公演と参加者との交流を行いました。
事業の成果	実施日 平成25年3月3日 専門職者や子育て支援者・有識者・保護者は、具体的な数値を示しての講演に「子ども達の心身現状は予想より深刻であった」「自分のできることから始めたい」との感想が寄せられました。交流会では多くの方が名刺交換を行っていました。 ・子どもとメディアを考える学習、交流会2013:参加者68名
今後の目標	子育て支援者と協働して、子どもの成長に大切な事を啓発し、メディアの過剰接触・ネット依存の予防につなげたいです。専門職者・有識者の方々とも協働し、更なるネットワーク構築を進めていきたいです。
採択・実践のコメント	・普段なかなか認識されないメディアとの関係性について、講師を呼び幅広い世代が参加し、講演会だけでなく交流を図ったことを評価します。 ・今後も、有識者等様々な人との活動を広げ、交流のネットワークを広げる活動になることを期待します。
活動状況写真	

団体名	衣食住研究会
事業名	衣食住研究会(着物っておしゃれ！)
寄附活用分野	日本一の教育都市への取り組みに関する事業
総事業費	93,200円
補助金額	30,000円
担当課	国際・文化課
団体の活動	平成23年に設立し、日本の衣食住の文化に触れ、物を大切にする心や生き方を学び、国際交流に関する活動を行っています。 現在の会員数は9名で、今回は伝統芸術である着物に焦点をあてました。たった3分間で完璧な和装姿に変身できる着物を体験していただき、地域住民の親睦と国際交流を果たすために活動しています。
事業の概要	つくば地域の国際交流や地域住民の親睦を目的として、次の事業を実施しました。 ・着物っておしゃれ《和装姿で華になる》の開催 場所:つくばスタイル館 内容:服の上から着物をまとい、3分間で完璧な和装姿に変身する体験
事業の成果	着物っておしゃれ「和装で華になる」は地域の皆さんの参加・協力により無事終了することができました。これは、私たちの「衣食住研究会」が地域の皆さんに支えられ活動が行えていることであり、地域の中でも「衣食住研究会」の活動が認められると同時に期待されていることだと感じました。 実施日 平成24年10月13日 「和装姿で華になる」参加者:20人
今後の目標	誰もが気軽に「参加して良かった」と思える地域ぐるみの親睦活動や国際交流に関する活動を継続して実施するとともに、皆さんが楽しめ、かつ地域に貢献できる公益活動に取り組んでいきます。
採択・実践のコメント	・服の上から簡単に和装姿になることにより、地域親睦だけでなく、日本の伝統文化の普及を図ったことを評価します。 ・今後は、事前の広報活動を充実させるのと同時に、地域との親睦を図り、多くの参加者が集える活動になることを期待します。
活動状況写真	

団体名	高山真名学園PTA連絡協議会
事業名	高山真名学園PTA連絡協議会教育講演会 (災害から生き残る為に必要な事を学ぶ)
寄附活用分野	日本一の教育都市への取り組みに関する事業
総事業費	170,000円
補助金額	50,000円
担当課	教育総務課
団体の活動	今から29年前に島名小・真瀬小・高山中のPTAが連携し、三校連絡協議会として発足、年に一度、教育講演会もしくはスポーツ交流会を通じ、三校の保護者同士の親睦を図っています。本年から、「高山真名学園PTA連絡協議会」と名称を一新し、子育てや教育・地域交流の活動にさらに力を入れていこうと考えています。
事業の概要	高山真名学園PTA連絡協議会 教育講演会 「災害から身を守る方法を学ぶ」 講師：防災システム研究所所長 山村武彦氏
事業の成果	実施日 平成24年12月8日 事後のアンケートをみると、参加者のほとんどから「参加してよかった」等の肯定的な意見が聞かれ、災害から身を守る具体的な方法を知り、いざというときの心構えができました。 ・講演会参加者数：240人(生徒80人、大人140人)
今後の目標	今後の学校防災・地域防災のありかたについて、学校・PTA・地域が一体となって話し合い、様々な災害を想定しながら、迅速な避難行動がとれるよう、実践的な訓練を実施していきます。
採択・実践のコメント	・体験を加えた講演会を行い、普段からの災害に関する心構えの意識向上を図ったことを評価します。 ・今後も、学校のみならず家庭においても、災害時の心構えや実践訓練の継続を期待します。
活動状況写真	

## 補助事業一覧

ページ	団体名	寄附活用分野	
	事業名	補助額	担当課
1	つくば小児肥満対策会	少子高齢化対策に関する事業	
	小児肥満児を対象とした宿泊型教育キャンプ	50,000円	健康増進課
2	さくらおたすけ会	少子高齢化対策に関する事業	
	桜ニュータウンに安心と元気を届ける事業	100,000円	高齢福祉課
3	リレー・フォー・ライフ茨城実行委員会	少子高齢化対策に関する事業	
	リレー・フォー・ライフ 2012 in 茨城	150,000円	健康増進課
4	つくば子ども劇場	少子高齢化対策に関する事業	
	「素敵な子育てしませんか」講演会&コンサート	50,000円	国際・文化課
5	楽走クラブ	少子高齢化対策に関する事業	
	チャレンジ♡運動会	50,000円	障害福祉課
6	つくばがん患者医科歯科連携協議会	少子高齢化対策に関する事業	
	がん患者医科歯科連携	50,000円	健康増進課
7	くすのき会	少子高齢化対策に関する事業	
	大穂地区子育て応援事業「くすのき会」	70,000円	子育て支援室
8	ふれジョブつくば	少子高齢化対策に関する事業	
	ふれジョブつくばの活動推進のための講演会	50,000円	障害福祉課
9	つくば森林クラブ	環境保全及び地球温暖化対策に関する事業	
	金田古墳跡・館山城跡の森林の整備	150,000円	農業課
10	新日本婦人の会 つくば支部	環境保全及び地球温暖化対策に関する事業	
	測ってわかる大気汚染“NO <sub>2</sub> ”そして公共交通で出かけよう	40,000円	環境保全課
11	ふれあい筑波	環境保全及び地球温暖化対策に関する事業	
	森林と竹林の実践整備活動・継続事業	150,000円	農業課
12	特定非営利活動法人 つくば環境フォーラム	環境保全及び地球温暖化対策に関する事業	
	筑波山自然展の開催	200,000円	観光物産課
13	金田台の生態系を守る会	環境保全及び地球温暖化対策に関する事業	
	「道くさハイク」及び金田とその周辺生態系保全活動と環境教育	50,000円	環境都市推進課
14	吾妻まつり実行委員会	安心・安全なまちづくりに関する事業	
	第32回 吾妻まつり	150,000円	市民活動課
15	特定非営利活動法人 スマイル・ステーション	安心・安全なまちづくりに関する事業	
	楽楽大学『TSUKUBAを語ろう』プロジェクト	150,000円	市民活動課
16	つくばセンター地区活性化協議会	安心・安全なまちづくりに関する事業	
	ランタンアート2012	150,000円	企画課
17	つくば市谷田部千歳通りフラワーボランティア会	安心・安全なまちづくりに関する事業	
	つくば市谷田部千歳通りイルミネーション事業	100,000円	産業振興課

## 補助事業一覧

ページ	団体名	寄附活用分野	
	事業名	補助額	担当課
18	竹アート実行委員会	安心・安全なまちづくりに関する事業	
	竹文化推進事業(竹アート)	100,000円	企画課
19	ふるさとつくばゆいまつり実行委員会	安心・安全なまちづくりに関する事業	
	第2回 ふるさとつくば ゆいまつり	30,000円	市民活動課
20	北条街づくり振興会	安心・安全なまちづくりに関する事業	
	つくば市竜巻災害復興支援チャリティコンサート 宮清大蔵コンサート2012	200,000円	産業振興課
21	筑波学院大学大道芸ジャグリングサークルFarce	安心・安全なまちづくりに関する事業	
	つくばFantastic Festival	30,000円	国際・文化課
22	筑波大学 斬桐舞	安心・安全なまちづくりに関する事業	
	ユニバーサルソーランによる地域活性化プログラム ～鳴子でつなぐ筑波とつくば 2012～	50,000円	企画課
23	つくばオペラフィオーレ	日本一の教育都市への取り組みに関する事業	
	オペラ「マダム・バタフライ～蝶々さん」(日本語上演)	30,000円	国際・文化課
24	漢字を楽しむ会 遊	日本一の教育都市への取り組みに関する事業	
	つくば漢字探検隊	100,000円	生涯学習課
25	おもしろ!ふしぎ?実験隊	日本一の教育都市への取り組みに関する事業	
	『理科の芽』発芽計画 by おもしろ!ふしぎ?実験隊	200,000円	こども課
26	☆一番星	日本一の教育都市への取り組みに関する事業	
	☆一番星「オペラ義援金2012」公演 "ラ・ボエーム"	30,000円	国際・文化課
27	特定非営利活動法人 PCY298	日本一の教育都市への取り組みに関する事業	
	パソコンノートテイクによる高校生への授業の情報保障	100,000円	障害福祉課
28	Hawai`i Festival in Tsukuba 実行委員会	日本一の教育都市への取り組みに関する事業	
	Hawai`i Festival in Tsukuba	50,000円	国際・文化課
29	吉沼おやじの会	日本一の教育都市への取り組みに関する事業	
	吉沼おやじの会	100,000円	教育総務課
30	つくばボードゲーム愛好会	日本一の教育都市への取り組みに関する事業	
	「ボードゲームの広場」を通して地域でつくる居場所づくり	30,000円	教育指導課
31	つくばハワイアン協会	日本一の教育都市への取り組みに関する事業	
	つくばハワイアン&フラフェスティバル2012	30,000円	国際・文化課
32	子どもとメディア関東	日本一の教育都市への取り組みに関する事業	
	子どもとメディアを考える 学習・交流会 2013	100,000円	生涯学習課
33	衣食住研究会	日本一の教育都市への取り組みに関する事業	
	衣食住研究会(着物っておしゃれ!)	30,000円	国際・文化課
34	高山真名学園PTA連絡協議会	日本一の教育都市への取り組みに関する事業	
	高山真名学園PTA連絡協議会教育講演会 (災害から生き残る為に必要な事を学ぶ)	50,000円	教育総務課